



2023年9月1日
新幹線メンテナンス東海株式会社

整備系社員ユニフォームのリニューアルについて

新幹線メンテナンス東海株式会社（代表取締役社長 大山隆幸）は、来る10月1日より、東京駅における東海道新幹線の折返し整備をはじめとする当社整備系社員が着用している「ピンクとブルーのユニフォーム」を、約30年ぶりにリニューアルします。

当社では、整備の仕事の価値を「単なる清掃ではなく、本質はサービス業」としてとらえ、「東海道新幹線の大量で高密度な運行を支え、上質で快適な空間の提供により、お客様の旅のお手伝いをする」ことが私たちの使命であるとして、この仕事に従事する社員を、新幹線や駅等をドレスアップする「ドレッサー」と呼んでいます。

新しいユニフォームにおいても、「ドレッサー」の使命を果たすべく、引き続き取り組んでまいります。

（1）新しいユニフォームのコンセプト

- ・東海道新幹線のイメージと調和したデザイン、色合いとし、日本の大動脈輸送を支えている「誇り」と「使命感」を表現するもの
- ・一目で当社の顔である「ドレッサー」と認知でき、「清掃員」のイメージを払拭するもの
- ・お客様には「プロの矜持」を感じて頂け、働く私たちが「一層の誇り」を感じ、これから働く人には「憧れ」の念を抱かせられるもの
- ・幅広い年代、多様な作業環境に関らず、一人ひとりが働きやすく機能性を有するもの

（2）新しいユニフォームのデザイン等（別紙）

- ・トップスのカラーは、東海道新幹線のイメージと調和した濃い目のブルーがベース
- ・センターアクセントにはJR東海のコーポレートカラーであるオレンジを配置
- ・ボトムスはグレンチェックの落ち着いたスタイル
- ・帽子はキャスケット風
- ・男女でほぼ同じデザインに

（3）その他

- ・新しいユニフォームについては、株式会社オンワードコーポレートデザイン（代表取締役社長 村上 哲）のご支援のもと、約2年間にわたり、デザイン、素材、機能性など幅広く検討を重ねて具現化してまいりました。

(別紙)



男性（ブルー）と女性（ピンク）の現行ユニフォーム



2023年10月1日から着用する新ユニフォーム